



**歴史的な鉄道** 1862年に連邦議会は、ミシシッピ川流域と太平洋岸を結ぶ鉄道2本の建設を承認した。1本はネブラスカ州オマハ市から西へ向けて1619キロメートル、もう1本はカリフォルニア州サクラメント市から東へ向けて建設された。この2本の鉄道は、1869年5月10日、ユタ州プロモントリー市で結合され、最後に金製の犬釘が打たれて、大陸横断鉄道が完成した。



**ラスベガス** 米国西部で20世紀に作られた唯一の大都市。この砂漠の中のリゾート都市は、20世紀末まで全米で最も急成長を遂げた都市圏だった。起業家精神、水へのアクセス、発達した交通網、そして緩い州法といった要因により、「ベガス」には、ぜいたくなカジノ、豪華なホテル、華麗なエンターテインメント施設などが集まるようになった。



**フーパー・ダム** 1930年から1936年にかけて建設されたフーパー・ダムは、米国で最も高いコンクリート製のアーチ式ダムである。洪水や沈泥の制御、発電、農業用かんがい、家庭用給水などに使われているが、主要な観光施設でもあり、年間100万人近い観光客が訪れている。

## 南西部 The Southwest

面積 564,719 平方マイル (1,462,615 平方キロメートル)  
18歳未満の青少年 9,943,176  
ネイティブ・アメリカン 982,410

人口 37,348,108  
外国生まれ 5,410,217  
最も人口の多い都市 ヒューストン



**グランド・キャニオン** アリゾナ州北西部の高原地帯にコロラド川によって作られたグランド・キャニオンは、その美しい形状と色彩で知られている。峡谷の外壁の間には、多くの壮大な山頂、ビュート、渓谷などがある。峡谷の幅は約160メートルから29キロメートル、全長は446キロメートルである。



**インディアン文化** アリゾナ州の約4分の1は、インディアン部族の土地であり、そこにはナバホ国家、ホピ部族、トホノ・オオダム国家、アパッチ部族、ヤキ族のほか、ヤバパイ、ケチャン、フアラパイなどのユーマン部族が集まっている。米国のアメリカ・インディアンの25%以上が南西部（主としてオクラホマ州とアリゾナ州）に住んでいる。



**バルーン・フィエスタ** アルバカーキ・バルーン・フィエスタは、毎年10月に開催される。たくさんのバルーンが空に上がり、バルーン・レース、花火大会、競技会、各種のショーなどカラフルなイベントが行われる。



**インディアンのプエブロ** プエブロ文化（アナサジ文化とも呼ばれる）は、アリゾナ、ニューメキシコ、コロラド、ユタの各州の接する地域に存在した有史以前の文化である。その子孫が近代のプエブロ民族（ホピ、ズニ、アコマ、ラグナなどの各部族）であり、その多くは現在も、13世紀末から14世紀初めにかけて建てられたアドービレンが造りの多層住宅に住んでいる。



**バイソンの群** バイソンは、大平原地帯を象徴する動物である。「バッファロー」と呼ばれることも多いが、それは誤りである。バイソンは強大な動物であり、北米に生息する動物の中では最も体重が重い。イエローストーン国立公園は、米国で唯一、先史時代から途切れることなくバイソンが生息している地域だとされており、米国の公有地では最も多くのバイソンがいる。



**アラモ** テキサス州サンアントニオ市にある18世紀のフランシスコ会修道士の伝導所。1836年、メキシコからの独立戦争でテキサス軍兵士が少数でアラモに立てこもり抗戦したことは有名な史実である。アラモは当初、1716年から1718年までの間に創設されたサンアントニオ・デ・バレロ伝導所のチャペルだったが、1700年代末までには廃墟となっていた。抗戦したテキサス軍兵士たちは破れたが、アラモは今もテキサス州では勇敢な行動の象徴となっている。



**ロングホーン牛** 「旧西部」の生きた象徴であるテキサス・ロングホーン種の牛は、米国で最も古い牛の品種のひとつである。1900年代までにはほぼ絶滅していたが、1927年に連邦政府、テキサス州、ネブラスカ州、およびオクラホマ州が、ロングホーン保護のために野生生物保護区を設立したため、復活した。



**カウボーイ** 南北戦争後の経済成長により、西部産の牛肉の需要が増えた。西部では、1800年代に牛が自由に放牧され、急速に繁殖していた。1866年～1886年までの間に、テキサス州から米国北部・東部の市場まで、一人で牛の群を誘導していく牛追いの姿は、国民的な英雄として、そしてワイルド・ウエスト（開拓時代の西部）の象徴としての「アメリカン・カウボーイ」の伝説を生んだ。



**石油生産** テキサス州は、米国最大の産油州であり、第2位以下はノースダコタ、アラスカ、カリフォルニアの各州が続いている。2012年10月のテキサス州の産油量は日量210万バレルで、2011年のピーク産油量170万バレルより多かった。テキサス州の3分の2を超える地域の地下で油層が発見されている。



**牛の牧場** 1886年から1887年にかけての冬の猛吹雪で何千頭もの畜牛が死んだため、放牧による畜牛産業は突然終わりを迎えた。投資家は土地を買い、1870年代に発明された有刺鉄線で囲った牧場で、残された畜牛を飼育した。牛は、新たに建設された鉄道で市場に運ばれるようになった。

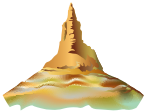
## 中西部 The Midwest

面積 750,523 平方マイル (1,943,846 平方キロメートル)  
18歳未満の青少年 16,128,108  
ネイティブ・アメリカン 458,611

人口 66,927,001  
外国生まれ 4,461,557  
最も人口の多い都市 シカゴ



**ラシュモア山** 天然石の彫刻で知られる芸術家ガッツォン・ボーグラムが、ジョージ・ワシントン、トーマス・ジェファソン、セオドア・ルーズベルト、エイブラハム・リンカーンの4人の大統領の頭部をラシュモア山に刻んだ。この彫刻は高さ18メートルもあり、1927年から1941年にかけて、サウスダコタ州のブラックヒルズにあるラシュモア山南東壁の花崗岩に刻まれた。ワシントンは米国の建国を、ジェファソンは大陸における米国の拡張を、ルーズベルトは国内の開発と国際的な影響力を、そしてリンカーンは南北戦争を通じた国家の維持を象徴している。



**チムニー・ロック** ネブラスカ州西部にあるチムニー・ロックは、1956年に国立史跡に指定された。高さ108メートルの円錐形の丘の上に、高さ37メートルの砂岩の尖塔が立っている。オレゴン・トレイルの主な道しるべのひとつであり、ここまで来ると大平原が終わり、ロッキー山脈に入る。



**インディアン**の伝統 米国中西部の北部地域には、ヨーロッパ人が入ってくるまで、数多くのインディアン文化があり、その名残として、複雑な構造の儀式用マウンドや銅製の道具などが残っている。五大湖周辺には、ヒューロン、オタワ、チペワ(オジブウェ)、ポタワトミ、ウイネバゴ(ホーチャック)、メノミニ、サクス、フォックス、マイアミといった諸部族が住んでいた。



**酪農製品** ウィスコンシン州は、人口で全米第20位、面積では第23位であるが、チーズ生産では全米第1位、牛乳の生産ではカリフォルニア州に次いで第2位である。ウィスコンシン州の牛乳生産量の約85%は、チーズ製造に使われている。同州に加えて、ミネソタ、ミシガン両州も、中西部の「酪農ベルト」を構成している。



**ゴム産業** 中西部は、米国の「パンかご(穀倉地帯)」として知られているが、製造業も盛んである。オハイオ州は、ゴム製品の生産で全米第1位であり、同州アクロン市にはグッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニーの本社がある。



**ルート66** ルート66幹線保存計画およびその関連活動により、この伝説的な道路に沿って点在するネオンサインが保存され、また道路のおよそ85%が走行可能となっている。道路沿いに独特の文化を作り出している食堂、モーター、そして観光客目当ての「キッチュ」な店は、第2次世界大戦後の米国に広がった楽観主義を象徴する生きた歴史となっている。米国連邦道路局は、ルート66のアリゾナ、イリノイ、ニューメキシコ、およびオクラホマ各州を通る部分を、国定シーニック・バイウエー(景観道路)に指定している。



**ゲートウェー・アーチ** ミズーリ州セントルイス市にあるゲートウェー・アーチは、「西部への入り口」とも呼ばれ、西部を開拓したパイオニアたちを称える記念碑である。ジェファソン・ナショナル・エキスポ・メモリアル公園の中心的存在であるこのアーチは、ミシシッピ川西岸にあり、高さ192メートル、幅も192メートル。観光客は、アーチに設置されたトラムで頂点まで上ることができる。ゲートウェー・アーチは、1947年に設計され、1963年から1965年にかけて建設され、1967年にオープンした。



**小麦** 中西部は米国で最も小麦生産量の多い地域である。小麦は、大平原の「小麦ベルト」と呼ばれる地帯の乾燥した気候に強い。小麦ベルトの中で最も小麦生産量の多いのはカンザス州、続いてノースダコタ州である。このほか、サウスダコタ、ミネソタの両州も、小麦生産量で全米10位以内に入っている。



**農業** 米国の農業州トップ10のうち8州(アイオワ、ネブラスカ、イリノイ、ミネソタ、カンザス、サウスダコタ、オハイオ、インディアナ)が中西部にある。夏が長く暑い中央平原と大平原は、作物の生育期間も長い。